

## 2012 年度事業報告

自 2012 年4 月 1 日

至 2013 年3 月 31 日

### 公1

眼科分野で国民医療の普及・向上を図り、健康の維持発展に寄与することを目的に行う事業

【1】視能に関する学問の発展を促進し、もって視能障害防止、眼保健衛生の普及・向上を図る事業

#### 1. 健診・検診に関する事業

(1) 新生児から成人に至るまでの視覚発達に関する情報をインターネットホームページに掲載した。

(2) 視覚感受性期にある乳幼児を対象とした「目の健康チェックシート」をインターネットホームページに掲載（ダウンロード可能）するとともに、当該文書を各市区町村医療センターへ配布し、乳幼児期に発見し治療すべき疾患への注意を促した。

(3) 三歳児健康診査での眼科検査方法を解説した「三歳児健診マニュアル」をインターネットホームページに掲載し（ダウンロード可能）、検査技術及び精度の地域格差を改善に努めた。

(4) 国民が生涯の各時点で対象となる眼科各種健診および検診の重要性を、視覚器の発達および加齢に伴う変化と組み合わせた健診・検診年表（仮題）作成に向け検討し、国民に眼保健衛生の重要性を伝えるために取り組んだ。

(5) 都道府県眼科医会が主催する「目の愛護デー」関連事業へ参加協力し、眼保健衛生の普及・向上・啓発に努めた。協会へ直接協力要請があった事業は、以下の通りである。

2012年10月14日（日）：目の愛護デー「眼科健康相談（無料）」（東京）

2012年10月 7日（日）：目の愛護デー「緑内障無料検診」（和歌山）

2012年10月 8日（月・祝）：目の愛護デー・京都「眼科一般検査」（京都）

(6) 全国糖尿病週間において、日本糖尿病協会埼玉支部へ後援名義借用を許可し、その活動（2012年10月6日～11月3日：医療相談、検査、講演会等）を支援した。

(7) 保健師を対象とした講演会で乳幼児の視覚と眼科健診の重要性を啓発した。

2012年5月29日（火）：大阪府保健所保険連絡協議会で講演（大阪）

#### 2. 広報事業

(1) インターネットホームページ等を通じて社会へ眼保健衛生の啓発と推進を行った。

(2) インターネットホームページに倫理規程を公示し、視能訓練士の職業倫理の高揚と業務への責任を喚起する活動を行った。

(3) 協会ポスターをリニューアルし、リーフレットと共に会員や関連諸団体へ無料配布して「視能訓練士」の名称および職務を国民に向けて広報を行った。

(4) 東京都看護協会がナイチンゲール生誕記念事業として主催する「看護フェスタ」へ参

加し、来場者の視力検査を行い、眼疾患を啓発するパンフレットおよび視能訓練士に関するリーフレットを配布した。

2012年 5月13日(日)：新宿西口イベント広場

(5) 中学生・高校生を対象に視能訓練士の職務を、視能矯正学を学ぶ学生に対しては、協会活動を紹介する機会を積極的に設け、早期から本職や本協会への興味や理解を促した。前者については、岡山県立岡山大安寺高等学校の訪問学習（2012年7月3日：帝京大学病院）を受け入れた。後者については、協会活動に関するCD-ROMを全国の養成校へ配布し、理事を養成校へ派遣して協会活動を説明した。

(6) インターネットホームページの拡充を行った。

### 3. 調査事業

(1) 視能矯正・訓練普及の実態調査を行った。

(2) 視能の病態および視能矯正の実態調査を行った。

(3) 2015年に実施する視能訓練士実態調査に向けた準備を行った。

(4) 新規免許取得者の就業状況調査を行い、新卒者の就業傾向を把握した。

(5) 視能訓練士が行う業務と診療報酬との関連について調査を行い、結果をホームページに掲載した。

(6) 日本視能訓練士協会定款施行規則を検討し、必要に応じて改定した。

### 4. 渉外事業

(1) 国内関係諸団体との相互の協力について密に交流を行った。

1) 監督官庁（内閣府）及び関係官庁（厚生労働省・文部科学省）へ、協会の現況について連絡交流を図った。

2) 研究諸団体（日本眼科医会・日本眼科学会・日本弱視斜視学会・日本眼光学学会・日本視野学会・日本ロービジョン学会・医療研修推進財団・国際医療技術財団・日露医学医療交流財団、等）と学術・技能向上の為の提携交流を図った。

3) 医療技術者21団体協議会・東京都医療従事者ネットワーク連絡会に参加し、医療技術者団体間での交流を図り、医療技術者の相互理解を深めた。

4) 国民医療推進協議会（会長：日本医師会会長）へ参加し、参加団体と協力して国民皆保険制度を守る活動を行った。

2012年12月21日（金）国民医療を守るための総決起大会

5) チーム医療推進会議へ参加し、医療技術者団体間の連携を深め、医療技術者の社会的地位向上に向けた活動を行った。

(2) 国外の視能矯正学分野に関係する団体と交流し、知識・技術の提携を行った。

1) 国際視能矯正協会代表者会議及び年次総会に出席、および第12回国際視能矯正学会における教育フォーラムの運営を行った。

2012年国際視能矯正協会(IOA)理事会

2012年 6月23日(土)～25日(月)：カナダ トロント

第12回国際視能矯正学会(IOC)・年次総会

2012年 6月26日(火)～29日(金)：カナダ トロント

2) アジアの友好国（フィリピン、タイ、カンボジア、モンゴル、シンガポール等）との関係を深め、特にモンゴル国へ医療技術提供を行った（2012年8月）。

3) 第12回国際斜視学会の国内開催準備(2014年12月1日～4日、京都開催予定)を支援した。

## 5. 災害支援事業

(1) 東日本大震災の被災地区における眼科医療活動(プロジェクト・ビジョンバン)へ参加協力し、被災者を対象とした眼科検診を検査面から支援した。

2013年3月17日(日) 仙台市岩沼市竹駒神社

2013年3月24日(日) 仙台市青葉区

## 【2】眼科の医療現場で視能検査および視能矯正訓練に携わる視能訓練士個々の学術技能と職業倫理を向上・高揚させる事業

### 1. 学会事業

(1) 日本視能矯正学会を開催し、次年度以降の学会開催準備を行った。

1) 第53回(2012年)学会の開催

2012年11月10日(土)・11日(日)：パシフィコ横浜国立大ホール(横浜)

学会テーマ：「前進—かわりゆくもの、かわらないもの」

学会長：保沢 こそえ (自治医科大学)

参加者：2273名

2) 第54回(2013年)学会の開催準備

2013年11月16日(土)・17日(日)：福岡国際会議場(福岡)

学会テーマ：「明日を見つめて さあ！ここから始めよう」

学会長：山田 敏夫 (大島眼科病院)

名誉学会長：松井 孝明 (大島眼科病院)

3) 第55回(2014年)学会開催準備

2014年11月29日(土)：京都

学会長：河賀 友紀(神戸大学)

(2) 日本臨床眼科学会視能訓練士プログラムを開催し、次年度の開催準備を行った

1) 第66回日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム開催

2012年10月25日(木)～28日(日)：国立京都国際会館(京都)

テーマ：日常の検査数値の取り扱いと発表のための統計処理～オープンスクール

参加者：370名

2) 第67回日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム準備

2013年10月31日(木)～11月3日(日)：パシフィコ横浜(横浜)

### 2. 講習研修事業

(1) 講演会を開催し、次年度の開催準備を行った。

1) 第28回開催 2012年6月3日(日)：よみうり文化センター千里中央(大阪)

講演内容：「視細胞の見える補償光学 眼底カメラで何が分かるか」

演者：不二門 尚(大阪大学)

参加者：293名

2) 第29回開催準備 2013年6月2日(日)：有楽町朝日ホール(東京)

(2) 研修会を開催し、次年度の開催準備を行った。

1) 第 11 回研修会開催 2012 年 6 月 3 日 (日) : 大阪 第 28 回講演会と併催  
研修内容 : 小児の眼鏡

参加者 : 293名

2) 第 12 回研修会開催準備 2013 年 6 月 2 日 (日) : 東京 第 29 回講演会と併催

(3) 光学と眼鏡に関する研修会を後援し、次年度の開催準備に協力した。

2012 年 8 月 25 日 (土) ・ 26 日 (日) 眼光学チュートリアルセミナー後援

参加者 : 111名

### 3. 教育事業

(1) 視能訓練士生涯教育制度の各教育プログラムを実施した。

1) 新人教育プログラム

講義日程

2012 年 7 月 15日(日)・ 16日(月・祝) 機械振興会館 (東京)

受講者 : 116名 内2名は聴講

2012 年 9 月 16日(日)・ 17日(月・祝) 神戸大学 (兵庫)

受講者 : 95名

技術日程 ブロック単位開催

北海道ブロック

10 月 21 日 (日) 視野検査

天使病院

東北ブロック

9 月 30 日 (日) 視力・屈折検査

東北文化学園専門学校

11 月 3 日 (土・祝) 視野検査

東北文化学園大学

11 月 4 日 (日) 両眼視・眼位・眼球運動検査

東北文化学園大学

関東甲信越ブロック

7 月 29 日 (日) 視力・屈折検査

帝京大学医療技術学部

9 月 23 日 (日) 視野検査

帝京大学医療技術学部

2013年1 月 27 日 (日) 両眼視・眼位・眼球運動検査

帝京大学医療技術学部

東京ブロック

7 月 29 日 (日) 両眼視・眼位・眼球運動検査

帝京大学医療技術学部

9 月 23 日 (日) 視力・屈折検査

帝京大学医療技術学部

2013年1 月 27 日 (日) 視野検査

帝京大学医療技術学部

東海・北陸ブロック

7 月 8 日 (日) 両眼視・眼位・眼球運動検査

愛知淑徳大学

9 月 22 日 (土・祝) 視野検査

愛知淑徳大学

9 月 23 日 (日) 視力・屈折検査

愛知淑徳大学

近畿ブロック

6 月 10 日 (日) 視力・屈折検査

京都医健専門学校

7 月 1 日 (日) 視野検査

大阪医療福祉専門学校

9 月 30 日 (日) 両眼視・眼位・眼球運動検査

大阪医療福祉専門学校

中四国ブロック

6 月 10 日 (日) 視力・屈折検査

川崎医療福祉大学

11月18日(日) 視野検査	川崎医療福祉大学
2013年3月10日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	川崎医療福祉大学
九州ブロック	
10月7日(日) 視野検査	大分視能訓練士専門学校
10月8日(月・祝) 視力・屈折検査	大分視能訓練士専門学校
11月4日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	熊本大学医学部山崎記念館

受講者合計：434名

## 2) 基礎教育プログラム

### 基礎教育プログラムⅠ 開催

2012年7月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝) 機械振興会館(東京)

受講者：148名

2012年9月15日(土)・16日(日)・17日(月・祝) 神戸大学(兵庫)

受講者：193名

### 基礎教育プログラムⅢ 開催

2012年8月4日(土)・5日(日) 川崎医療福祉大学(岡山)

受講者：視能矯正40名 視能障害40名

2012年10月13日(土)・14日(日) 帝京大学医療技術学部(東京)

受講者：視能障害39名 視能矯正38名

## 3) 専門教育プログラム

専門教育プログラムの実施に向け、2011年度に実施した有識者会議(有識者団体：日本眼科学会、日本眼科医会、日本弱視斜視学会、日本小児眼科学会、日本眼光学学会、日本網膜硝子体学会、日本視野研究会、日本神経眼科学会、日本ロービジョン学会)の結果を基に、受講対象者および専門分野等の具体的な検討を行った。

(2) 公益財団法人医療研修推進財団が主催する実習施設指導者等養成講習会を後援した。

2012年7月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝)：機械振興会館(東京)

受講者：77名

(3) 施設見学研修を行った。

実習施設指導者等養成講習会修了者(全修了者)が勤務する施設で、2012年9月から2013年3月の間、希望者に対して施設の見学および研修を行った。

(実施施設 11施設 参加者 15名)

(4) 「眼科スタッフビデオ」シリーズのDVDを希望者に貸し出し、技術研修に役立てた。

## 4. 出版事業

(1) 日本視能訓練士協会誌(学術論文集、第42巻)を雑誌として発刊(6000冊)し、電子ジャーナル(J-STAGE)を公開した。

(2) 日本視能訓練士協会会報(第119号、第120号)を2012年10月と2013年3月に発行した(第119号：6280冊、第120号：6400冊)。

### その他の事業(相互扶助等事業)

視能訓練士の資質向上を目的とした自己研鑽を奨励し、学術技能を評価して認定および表

## 彰する事業

### 1. 学術奨励賞授与

(1) 2012年度に発行した日本視能訓練士協会誌第41巻に投稿された学術論文の、対象論文から学術奨励賞を選考した結果、本年度は受賞論文無しとなった。

### 2. 「認定視能訓練士」および「専任教員」の認定・更新

(1) 視能訓練士生涯教育制度基礎教育プログラムを修了し、所定の条件を満たす者を「認定視能訓練士」と認定するための準備を行った。

(2) 専任教員認定制度の認定条件を満たす者を「専任教員」と認定し、以後5年ごとの認定更新を行った（2012年度新規認定：3名、認定更新：4名、認定者合計50名）。

## 附記

2012年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な項目」が存在しないので作成しない。

以上

# 貸借対照表

2013年 3月31日現在

公益社団法人 日本視能訓練士協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	40,147,818		40,147,818
<b>流動資産合計</b>	<b>40,147,818</b>		<b>40,147,818</b>
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
事業引当預金	21,705,005		21,705,005
減価償却引当資産	7,288,987		7,288,987
事務所修繕積立金	1,006,222		1,006,222
事務所修繕積立預け金	161,440		161,440
<b>特定資産合計</b>	<b>30,161,654</b>		<b>30,161,654</b>
(3) その他固定資産			
建物	6,333,240		6,333,240
什器備品	2,592,084		2,592,084
土地	28,535,447		28,535,447
電話加入権	147,784		147,784
ソフトウェア	11,119,735		11,119,735
<b>その他固定資産合計</b>	<b>48,728,290</b>		<b>48,728,290</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>78,889,944</b>		<b>78,889,944</b>
<b>資産合計</b>	<b>119,037,762</b>		<b>119,037,762</b>
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	340,000		340,000
預り金	65,323		65,323
<b>流動負債合計</b>	<b>405,323</b>		<b>405,323</b>
<b>負債合計</b>	<b>405,323</b>		<b>405,323</b>
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0		0
2. 一般正味財産	118,632,439		118,632,439
(うち特定資産への充当額)	30,161,654		30,161,654
<b>正味財産合計</b>	<b>118,632,439</b>		<b>118,632,439</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>119,037,762</b>		<b>119,037,762</b>

# 正味財産増減計算書

2012年 4月 1日から2013年 3月31日まで

公益社団法人 日本視能訓練士協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
<b>受取入金</b>	<b>1,038,000</b>		<b>1,038,000</b>
受取入金	1,038,000		1,038,000
<b>受取会費</b>	<b>60,240,000</b>		<b>60,240,000</b>
正会員会費	57,400,000		57,400,000
賛助会員個人会費	290,000		290,000
賛助会員団体会費	2,550,000		2,550,000
<b>事業収益</b>	<b>42,034,951</b>		<b>42,034,951</b>
学会事業収益	24,186,529		24,186,529
講習研修事業収益	1,733,000		1,733,000
生涯教育事業収益	15,508,600		15,508,600
出版事業収益	266,822		266,822
広報事業収益	340,000		340,000
<b>受取寄付金</b>	<b>200,000</b>		<b>200,000</b>
受取寄付金	200,000		200,000
<b>雑収益</b>	<b>1,975,914</b>		<b>1,975,914</b>
雑収益	1,960,294		1,960,294
受取利息	15,620		15,620
<b>経常収益計</b>	<b>105,488,865</b>		<b>105,488,865</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	<b>88,283,234</b>		<b>88,283,234</b>
給料手当	15,061,782		15,061,782
福利厚生費	1,826,724		1,826,724
会議費	2,752,744		2,752,744
渉外費	949,038		949,038
旅費交通費	4,114,754		4,114,754
通信運搬費	6,631,127		6,631,127
減価償却費	4,223,701		4,223,701
消耗品費	5,352,023		5,352,023
印刷製本費	15,776,646		15,776,646
ホームページ運用費	1,328,250		1,328,250
保守費	1,522,898		1,522,898
賃借料	12,787,373		12,787,373
リース料	605,763		605,763
保険料	217,151		217,151
諸謝金	4,074,093		4,074,093
租税公課	390,966		390,966
支払手数料	127,050		127,050
支払寄付金	3,105,169		3,105,169
委託費	5,508,080		5,508,080
ビル管理委託費	1,297,186		1,297,186
雑費	630,716		630,716
<b>管理費</b>	<b>14,737,635</b>		<b>14,737,635</b>
給料手当	1,417,186		1,417,186
退職給付費用	288,000		288,000
福利厚生費	156,687		156,687
会議費	879,415		879,415
渉外費	1,028,903		1,028,903
旅費交通費	1,748,380		1,748,380
通信運搬費	519,977		519,977
減価償却費	362,293		362,293
消耗品費	167,123		167,123
印刷製本費	1,496,570		1,496,570
保守費	130,618		130,618
賃借料	254,236		254,236
リース料	51,957		51,957
保険料	2,072,245		2,072,245
指導料	3,339,816		3,339,816
租税公課	33,534		33,534
支払手数料	625,342		625,342
ビル管理委託費	111,261		111,261
雑費	54,092		54,092
<b>経常費用計</b>	<b>103,020,869</b>		<b>103,020,869</b>
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>2,467,996</b>		<b>2,467,996</b>
<b>評価損益等計</b>	<b>0</b>		<b>0</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>2,467,996</b>		<b>2,467,996</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>		<b>0</b>
(2) 経常外費用			
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>		<b>0</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>		<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>2,467,996</b>		<b>2,467,996</b>
一般正味財産期首残高	116,164,443		116,164,443
一般正味財産期末残高	118,632,439		118,632,439
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>		<b>0</b>
指定正味財産期首残高	0		0
指定正味財産期末残高	0		0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>118,632,439</b>		<b>118,632,439</b>

# 正味財産増減計算書内訳表

2012年 4月 1日から2013年 3月31日まで

公益社団法人 日本視能訓練士協会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
受取入会金	830,400	0	207,600	1,038,000
受取入会金	830,400	0	207,600	1,038,000
<b>受取会費</b>	<b>41,872,000</b>	<b>1,200,000</b>	<b>17,168,000</b>	<b>60,240,000</b>
正会員会費	39,032,000	1,200,000	17,168,000	57,400,000
賛助会員個人会費	290,000	0	0	290,000
賛助会員団体会費	2,550,000	0	0	2,550,000
<b>事業収益</b>	<b>42,034,951</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>42,034,951</b>
学会事業収益	24,186,529	0	0	24,186,529
講習研修事業収益	1,733,000	0	0	1,733,000
生涯教育事業収益	15,508,600	0	0	15,508,600
出版事業収益	266,822	0	0	266,822
広報事業収益	340,000	0	0	340,000
<b>受取寄付金</b>	<b>200,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>200,000</b>
受取寄付金	200,000	0	0	200,000
<b>雑収益</b>	<b>1,975,914</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,975,914</b>
雑収益	1,960,294	0	0	1,960,294
受取利息	15,620	0	0	15,620
<b>経常収益計</b>	<b>86,913,265</b>	<b>1,200,000</b>	<b>17,375,600</b>	<b>105,488,865</b>
<b>(2) 経常費用</b>				
<b>事業費</b>	<b>87,330,383</b>	<b>952,851</b>		<b>88,283,234</b>
給料手当	14,814,605	247,177		15,061,782
福利厚生費	1,796,974	29,750		1,826,724
会議費	2,752,744	0		2,752,744
渉外費	946,987	2,051		949,038
旅費交通費	4,114,754	0		4,114,754
通信運搬費	6,590,188	40,939		6,631,127
減価償却費	4,154,912	68,789		4,223,701
消耗品費	4,870,744	481,279		5,352,023
印刷製本費	15,769,018	7,628		15,776,646
ホームページ運用費	1,328,250	0		1,328,250
保守費	1,498,101	24,797		1,522,898
賃借料	12,786,901	472		12,787,373
リース料	595,900	9,863		605,763
保険料	217,016	135		217,151
諸謝金	4,074,093	0		4,074,093
租税公課	384,599	6,367		390,966
支払手数料	124,833	2,217		127,050
支払寄付金	3,105,169	0		3,105,169
委託費	5,508,080	0		5,508,080
ビル管理委託費	1,276,066	21,120		1,297,186
雑費	620,449	10,267		630,716
<b>管理費</b>			<b>14,737,635</b>	<b>14,737,635</b>
給料手当			1,417,186	1,417,186
退職給付費用			288,000	288,000
福利厚生費			156,687	156,687
会議費			879,415	879,415
渉外費			1,028,903	1,028,903
旅費交通費			1,748,380	1,748,380
通信運搬費			519,977	519,977
減価償却費			362,293	362,293
消耗品費			167,123	167,123
印刷製本費			1,496,570	1,496,570
保守費			130,618	130,618
賃借料			254,236	254,236
リース料			51,957	51,957
保険料			2,072,245	2,072,245
指導料			3,339,816	3,339,816
租税公課			33,534	33,534
支払手数料			625,342	625,342
ビル管理委託費			111,261	111,261
雑費			54,092	54,092
<b>経常費用計</b>	<b>87,330,383</b>	<b>952,851</b>	<b>14,737,635</b>	<b>103,020,869</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	-417,118	247,149	2,637,965	2,467,996
評価損益等計	0	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>-417,118</b>	<b>247,149</b>	<b>2,637,965</b>	<b>2,467,996</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>				
<b>(1) 経常外収益</b>				
経常外収益計	0	0	0	0
<b>(2) 経常外費用</b>				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	44,042	-44,042	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>-373,076</b>	<b>203,107</b>	<b>2,637,965</b>	<b>2,467,996</b>
一般正味財産期首残高	54,052,406	1,401,536	60,710,501	116,164,443
一般正味財産期末残高	53,679,330	1,604,643	63,348,466	118,632,439
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>53,679,330</b>	<b>1,604,643</b>	<b>63,348,466</b>	<b>118,632,439</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

### 2. 重要な会計方針

当法人は、平成 24 年度から「公益法人会計基準」(平成 20 年 4 月 11 日、改正平成 21 年 10 月 16 日 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

#### (1) 固定資産の減価償却方法

定額法を採用している。

#### (2) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理を行っている。

#### (3) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 3. 会計方針の変更

当期より、一般法人及び一般財団法人に関する法律並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に関連する規定に基づく会計基準に変更した。

基準の変更による当期の影響額は、管理費から事業費へ振替えした 32,165 千円である。

### 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事業引当預金	21,704,282	723	0	21,705,005
減価償却引当資産	7,043,434	245,553	0	7,288,987
事務所修繕積立金	1,004,537	1,685	0	1,006,222
事務所修繕積立預け金	161,440	0	0	161,440
小 計	29,913,693	247,961	0	30,161,654
合 計	29,913,693	247,961	0	30,161,654

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事業引当預金	21,705,005	0	21,705,005	0
減価償却引当資産	7,288,987	0	7,288,987	0
事務所修繕積立金	1,006,222	0	1,006,222	0
事務所修繕積立預け金	161,440	0	161,440	0
小 計	30,161,654	0	30,161,654	0
合 計	30,161,654	0	30,161,654	0

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	7,981,894	1,648,654	6,333,240
什 器 備 品	4,257,677	1,665,591	2,592,084
ソフトウェア	21,192,838	10,073,103	11,119,735
合 計	33,432,409	13,387,348	20,045,059

# 附属明細書

公益社団法人 日本視能訓練士協会

## 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産		0	0	0	0
	基本財産合計	0	0	0	0
特定資産	事業引当預金	21,704,282	723	0	21,705,005
	減価償却引当資産	7,043,434	245,553	0	7,288,987
	事務所修繕積立金	1,004,537	1,685	0	1,006,222
	事務所修繕積立預け金	161,440	0	0	161,440
	特定資産合計	29,913,693	247,961	0	30,161,654

## 2. 引当金の明細

該当なし

# 財産目録

2013年 3月31日現在

公益社団法人 日本視能訓練士協会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	みずほ赤坂1528413	運用資金	967,990
		みずほ日本橋2254953	〃	4,312,824
		みずほ日本橋2254945	〃	702,886
		三菱東京UFJ阿佐ヶ谷1158775	〃	482,649
		三菱東京UFJ阿佐ヶ谷1464018	〃	21,474,406
		三菱東京UFJ神田駅前2385591	〃	185,864
		三井住友神田駅前1667685	〃	2,486,077
		三井住友神田駅前1667696	〃	1,105,001
		東京貯金事務センター00110-1-362779	〃	907,420
		東京貯金事務センター00130-1-78073	〃	521,248
		郵貯銀行10120-55496331	〃	4,354,877
		定期：三井住友神田駅前1251906	〃	2,646,576
<b>流動資産合計</b>				<b>40,147,818</b>
(固定資産) 特定資産	事業引当預金	三井住友神田駅前1684888	運用資金	<b>30,161,654</b>
		三井住友神田駅前1684913		<b>21,705,005</b>
		みずほ日本橋6453454		20,608,877
	減価償却引当資産	三井住友神田駅前1684899	建物購入に備えた積立資金	313,128
		みずほ日本橋6453462		783,000
	事務所修繕積立金	ゆうちょ銀行No.10120-75744111	事務所修繕に備えた積立資金	<b>7,288,987</b>
事務所修繕積立預け金	新神田ビル管理組合	建物管理会社への預け金	6,820,987	
468,000			<b>1,006,222</b>	
1,006,222			161,440	
その他固定資産	建物	千代田区鍛冶町1-8-5 新神田ビル2階 62.06㎡	公益目的保有財産であり、 公益目的事業、収益事業等、 管理業務で使用している共用 資産である。	<b>48,728,290</b>
	什器備品	パソコン17台、検査器具2台	〃	6,333,240
	土地	千代田区鍛冶町1-8-5 338.02㎡×22756/400000	〃	2,592,084
	電話加入権	3本 5397-7133、3345-1818、0395-0208	〃	28,535,447
	ソフトウェア	会員管理ソフトウェア	〃	147,784
				11,119,735
<b>固定資産合計</b>				<b>78,889,944</b>
<b>資産合計</b>				<b>119,037,762</b>
(流動負債)	前受金		翌年度入会金60,000円	340,000
	預り金		翌年度会費 280,000円 H25.1月～3月分源泉所得税	65,323
<b>流動負債合計</b>				<b>405,323</b>
<b>負債合計</b>				<b>405,323</b>
<b>正味財産</b>				<b>118,632,439</b>